



このと通信

不妊原因

「卵子の老化」が約半数

NHKスペシャルで特集

多くの夫婦が不妊に悩む原因や背景を探るため、NHKが全国の専門医療機関に調査を行ったところ、女性が年を重ねるとともに妊娠しづらくなる、「卵子の老化」に原因がある患者の割合が半数近くに上ることが、初めて明らかになりました。

専門家は「卵子の老化が知られていないことが、不妊に悩む夫婦の増加に拍車をかけている」と指摘しています。

不妊の検査や治療を受けた夫婦は6組に1組に上り、より高度な不妊治療である体外受精の件数は、年間で21万件と、5年で倍増して、世界最多となりました。

NHKでは、その原因や背景を探るため、先月から今月に欠けて調査を行い、全国の専門医療機関の半数に当たるおよそ300と、不妊治療をしている患者など1万人余りから回答を得ました。

このうち、医療機関に対して、不妊の原因について聞いたところ、女性では、30代半ばを過ぎると

卵子の質が低下して妊娠しづらくなる「卵子の老化」に原因がある患者の割合は、平均で47%と半数近くに上ることがわかりました。

また、初診患者の平均年齢を35歳以上と答えた医療機関は77%に上りました。

10年前は20%にとどまっていたことから、卵子の老化によって妊娠が難しくなっているから治療に駆け込む人が相次いでいる実態が、初めて明らかになりました。

一方、35歳以上の女性患者の中で、不妊治療を始めるまで、「卵子の老化」について「知らなかった」と答えた人が55%と半数を超えました。

こうした患者の53%が、体外受精をすれば45歳まで妊娠は可能と考え、中には50歳まで可能と考えていた患者が17%もいました。



日本産婦人科学会によりますと、体外受精など高度な不妊治療で出産できる確率は、卵子の老化の影響で、45歳では0.5%に低下します。

不妊の問題に詳しい、東京の国立成育医療センターの斎藤英和医師は、「卵子が老化することが知られていないことで、高齢になっても治療を受ければ十分に妊娠は可能という誤解を生み、不妊に悩む夫婦の増加に拍車をかけている。卵子の老化について、きちんと知らせる仕組みを作る必要がある」と指摘しています。(NHKニュースより抜粋)

妙泉堂薬局からのアドバイス

中医学では「卵子の老化」をどう考えられているのでしょうか。

腎の充実度が生殖能力を左右します

妊娠するための必須条件は、月経期、卵胞期、排卵期、黄体期それぞれに起こる体やホルモンの分泌の変化が、順調であるということです。

月経周期が正常な状態を保つためには、体のエネルギーである気や、妊娠・出産と深い関わりのある血などが充実していて、めぐりも良く、さらに五臓（脾・肺・心・肝・腎）の働きがしっかりとしている必要があります。五臓のうちで、もつとも生殖能力と関係の深い腎（解剖学からみた腎臓とは異なります）についてお話しします。

中医学では、「ホルモンバランスや卵子・卵胞の発育、成長は、腎がコントロールしている」という考え方があります。腎の中には、精という物質が蓄えられていて（腎精）、血や卵子、精子などはこの腎精から生じると考えられています。この精といものは少々わかりにくいかもしれませんが、「精がつく」「精根尽き果てる」「精を出す」などの言葉を思い浮かべれば、精の大切さはイメージできるのではないでしょう。

この腎精については、二千年ほど前に書かれた中国の医学書である『皇帝内経』に「女性は7の倍数で変化する」と書かれて



います。14歳で初潮、49歳で閉経というリズムは、二千年たった現代でもそれほど変わっていません。科学が発達し、高度生殖医療の研究が進み、特殊な技術を使えばかなりの年齢まで出産が可能になりましたが、女性の体に備わっている自然の摂理は、そう大きくは変わっていないのです。

その腎精が芽吹くのがちょうど7歳のころ。歯が生え変わる、髪が増える、といった変化が体に起こります。そして7×2=14歳になると、生殖系統の発育が盛んになり、初潮が訪れます。7×3=21歳では、腎精が充実して、最も妊娠に適した時期に突入します。生殖能力と生命力がピークを迎えるのは、7×4=28歳のころ。ここから衰えが始まります。7×5=35歳になると、衰えが始まります。7×6=42歳になると、衰えが始まります。7×7=49歳になると、衰えが始まります。7×8=56歳になると、衰えが始まります。7×9=63歳になると、衰えが始まります。7×10=70歳になると、衰えが始まります。7×11=77歳になると、衰えが始まります。7×12=84歳になると、衰えが始まります。7×13=91歳になると、衰えが始まります。7×14=98歳になると、衰えが始まります。7×15=105歳になると、衰えが始まります。7×16=112歳になると、衰えが始まります。7×17=119歳になると、衰えが始まります。7×18=126歳になると、衰えが始まります。7×19=133歳になると、衰えが始まります。7×20=140歳になると、衰えが始まります。7×21=147歳になると、衰えが始まります。7×22=154歳になると、衰えが始まります。7×23=161歳になると、衰えが始まります。7×24=168歳になると、衰えが始まります。7×25=175歳になると、衰えが始まります。7×26=182歳になると、衰えが始まります。7×27=189歳になると、衰えが始まります。7×28=196歳になると、衰えが始まります。7×29=203歳になると、衰えが始まります。7×30=210歳になると、衰えが始まります。7×31=217歳になると、衰えが始まります。7×32=224歳になると、衰えが始まります。7×33=231歳になると、衰えが始まります。7×34=238歳になると、衰えが始まります。7×35=245歳になると、衰えが始まります。7×36=252歳になると、衰えが始まります。7×37=259歳になると、衰えが始まります。7×38=266歳になると、衰えが始まります。7×39=273歳になると、衰えが始まります。7×40=280歳になると、衰えが始まります。7×41=287歳になると、衰えが始まります。7×42=294歳になると、衰えが始まります。7×43=301歳になると、衰えが始まります。7×44=308歳になると、衰えが始まります。7×45=315歳になると、衰えが始まります。7×46=322歳になると、衰えが始まります。7×47=329歳になると、衰えが始まります。7×48=336歳になると、衰えが始まります。7×49=343歳になると、衰えが始まります。7×50=350歳になると、衰えが始まります。7×51=357歳になると、衰えが始まります。7×52=364歳になると、衰えが始まります。7×53=371歳になると、衰えが始まります。7×54=378歳になると、衰えが始まります。7×55=385歳になると、衰えが始まります。7×56=392歳になると、衰えが始まります。7×57=399歳になると、衰えが始まります。7×58=406歳になると、衰えが始まります。7×59=413歳になると、衰えが始まります。7×60=420歳になると、衰えが始まります。7×61=427歳になると、衰えが始まります。7×62=434歳になると、衰えが始まります。7×63=441歳になると、衰えが始まります。7×64=448歳になると、衰えが始まります。7×65=455歳になると、衰えが始まります。7×66=462歳になると、衰えが始まります。7×67=469歳になると、衰えが始まります。7×68=476歳になると、衰えが始まります。7×69=483歳になると、衰えが始まります。7×70=490歳になると、衰えが始まります。7×71=497歳になると、衰えが始まります。7×72=504歳になると、衰えが始まります。7×73=511歳になると、衰えが始まります。7×74=518歳になると、衰えが始まります。7×75=525歳になると、衰えが始まります。7×76=532歳になると、衰えが始まります。7×77=539歳になると、衰えが始まります。7×78=546歳になると、衰えが始まります。7×79=553歳になると、衰えが始まります。7×80=560歳になると、衰えが始まります。7×81=567歳になると、衰えが始まります。7×82=574歳になると、衰えが始まります。7×83=581歳になると、衰えが始まります。7×84=588歳になると、衰えが始まります。7×85=595歳になると、衰えが始まります。7×86=602歳になると、衰えが始まります。7×87=609歳になると、衰えが始まります。7×88=616歳になると、衰えが始まります。7×89=623歳になると、衰えが始まります。7×90=630歳になると、衰えが始まります。7×91=637歳になると、衰えが始まります。7×92=644歳になると、衰えが始まります。7×93=651歳になると、衰えが始まります。7×94=658歳になると、衰えが始まります。7×95=665歳になると、衰えが始まります。7×96=672歳になると、衰えが始まります。7×97=679歳になると、衰えが始まります。7×98=686歳になると、衰えが始まります。7×99=693歳になると、衰えが始まります。7×100=700歳になると、衰えが始まります。

クを迎えるのは、7×4=28歳のころ。7×5=35歳になると、衰えが始まります。まず、肌につやが無くなったり、髪が少なくなるなどの変化が起こり、生殖能力にも陰りが出てきます。

現代では35歳以上の出産を高年齢出産と呼びますが、このことから考えても、人生のひとつの節目ともいえる時期です。そして42歳を迎えるころには白髪も出始め、49歳では腎精が更に衰えて、閉経する、というのが、中医学からみた女性のバイオリズムなのです。

生殖能力も含め、体全体の新陳代謝をコントロールする腎精は、生命力そのものといえる存在です。赤ちゃんはこの腎精をお父さんから半分、お母さんから半分もらって、ひとつの命が誕生すると考えられています。そしてその腎精の運搬をしているのが精子や卵子なのです。

こう考えると西洋医学という「卵子の老化とは」、中医学という「腎精不足」という状態に当たると考えられます。そして先ほどの7の倍数で変化していく腎精の変化は、まさに卵子の老化していくグラフにぴったりと一致します。最近になって盛んにいわれている「卵子の老化」は、中医学では二千年も前から記述されているのです。そしてこの腎精を補充して、腎（子宮や卵巣）の若返りを図っていくのが『補腎薬』であり、『補腎療法』です。つまり大切なのは実年齢よりも「腎年齢」、つまり子宮や卵巣などの生殖機能がどれだけ若さを維持しているかなのです。